



「五十年ぶりの帰還

生涯青春！記者魂！

ふるさとと愛はボチボチと…」



地域アドバイザー（仮称）
堂元 光さん
（宍粟市）

宍粟市山崎町で生まれ育ち、NHK政治部記者、政治部長、報道局長、大阪放送局長等を経て、平成26年から6年間、生え抜き職員トップの役職、副会長を務めた堂元さん。故郷を離れた後も、いずれは宍粟に戻るとい思いは変わらなかった。一昨年2月に退任後、故郷にUターン。帰郷後は、メディアの経験を活かし、地域の発信強化に向けて、日々汗を流されています。

読めますね？宍粟市

宍粟市と言えば、難読自治体の西横綱（東横綱は千葉県匝瑳市）とか、電車が走っていないまちとか、自虐的な

言葉をよく耳にします。しかし、私にとってはかけがいのない故郷です。森林面積が9割を占める森林王国。鮎の友釣り発祥の地と伝わる清流揖保川、人気の最上山公園もみじ山、カヌーを楽しむ音水湖、県内で初めて指定された森林セラピー基地（赤西溪谷など三箇所）は、森林王国ならではの癒しのスポットです。福知溪谷には、作家・故田辺聖子の文学碑（小説すべってころんで↓昭和48年NHKドラマ化）と共に、かつては別荘もあり、「関西の軽井沢」として愛された地域でもあります。名産揖保乃糸は6割の生産量、発酵のふるさと（播磨国風土記に由来）などなど自然豊かな穏やかな土地柄です。幼いころより、揖保川での川遊び

を欠かしたことはなく、NHK時代も含め今でも毎年続けています。「井の中の蛙…、されど天蒼きを知る」と。



最上山公園もみじ山

NHK時代…、ふるさととのつながり

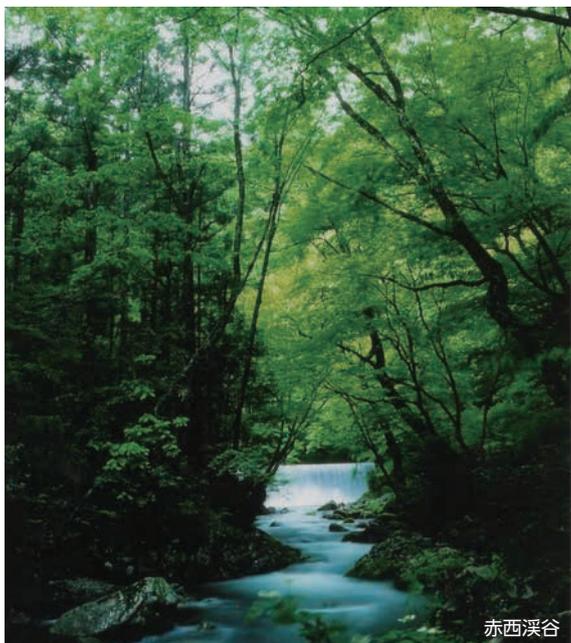
NHKでは、政治記者一筋の報道畑を歩みましたが、大河ドラマ「軍師官兵衛」の放送（平成26年）と紅白連続3回出場歌手・丘みどり（山崎高校出身）の誕生は生涯この上ない感激でした。宍粟市は、黒田官兵衛・初の知行地であり、最上山公園のふもとには、「黒田官兵衛飛躍の地」と「黒田熊之助ゆかりの地」の石碑も。（熊之助は、官兵衛の次男で、山崎城で生誕との記録あり）。

また、昭和59年のロサンゼルスオリンピック、柔道・細川伸二選手（一宮町出身）の金メダルも決して忘れるこ

とはありません。さらに、楽天の三木谷浩史社長は、徳川四天王のひとり本多忠勝につながる山崎藩藩主の子孫で、ドキュメンタリー番組「ファミリーヒストリー」に出演(平成30年)。そして、日本を代表する女優吉永小百合は、昭和47年、母親が幼少期に育った山崎町の薬泉寺を訪問。街中が大騒ぎになったと伝わっており、その時の写真は今も大切に保存されています。吉永家のお手伝いさんは、実は山崎町の女性！、かつての人気番組「私の秘密」(昭和39年)にも出演し、貴重な写真も残されています。

Uターンへの思い

「生まれ故郷の美しい山河を見ながら人生を終えたい」と思い続けていました。山崎高校卒業後、東京見物にでもと物見遊山で受験した早稲田大学にまさかの合格、そしてNHK入局と展開するも、ふるさと回帰への思いは変わらず！時を経て平成26年、NHK副会長の就任が決まった経営委員会で、「役割を終えたら、一日も早く故郷に帰りたい」と、失笑を買うような就任挨拶。正直に本音を言ったまで：有言実行、迷いなし！東京時代も大阪時代も、神戸新聞を定期購読、西播版の記事が故郷への思いを繋いでくれたのかもしれません。50年ぶりの帰還を果たし、何かひとつでもいい、恩返しができるばと：。記者魂が蘇れば、スクープ性ある新発見も：。豊富な地域資源の活用展開策も：。



赤西溪谷

現在の活動

単身Uターン生活も2年。少し覚えた手料理、畑仕事、ゴルフ：健康的

な面も。宍粟・山崎と姫路の往来が基本パターンで、地域の有り様や情報発信の在り方などなど、口は悪いが温かい播磨人との話はずきません。地域のアドバイザーが主な活動ですが、たまには、大都会の空気に触れようと、神戸や大阪、そして東京に足を運ぶことも：。ネット社会と言えども直接対話は欠かせません。人と人のつながりや交流は大事。コンテンツ展開戦国時代の真っ只中、地域の情報発信は如何にあるべきか追求していきたいです。

これからの夢

まず、自宅に「軍師官兵衛ギャラリー」と「丘みどりの部屋」を開設備中。ただし、完成未定・非公開(笑)。人口減少は避けて通れない地域の課題ですが、神姫バスは昔も今も地域の足です。「楽しそう！美味しそう！恋しそう！」：神姫バスの森林王国ツアーが実現する日が待ち遠しい。そして、コロナ禍で見送った兵庫県立大学での学生との対話を、新年度こそはスタートさせたいです。若者のテレビ離れ・活字離れが進む中、「若者は映像文化から逃げていくわけではない」と確信しています。メディア経験しかない私の話に耳を傾けてくれるだろうか？一



神戸新聞との懇談会

抹の不安もありますが、楽しみでもあります。生涯青春！ふるさと貢献、ポチポチと：。

追記・追伸

文中にある田辺聖子の「すべててころんで」は、昭和48年5月から6月にかけて、銀河テレビ小説として20回放送されましたが、NHKには映像が残っておらず、録画保存している方がいなか探し始めて10年、今後も探し続けます。

兵庫県の移住・仕事・出会いの相談窓口「カムバックひょうご」の紹介は次のページへ

【宍粟市営業部】
企業と宍粟市を
つなぐ
営業活動を展開。





兵庫県

移住・仕事

ひょうごの相談窓口

有楽町駅徒歩3分！

移住 カムバックひょうご東京センター (ひょうご移住プラザ)

■ 移住相談

開館日 火・水・木・金・土・日 (月・祝日除く)

10:00-18:00

☎070-2646-9028

仕事 カムバックひょうごハローワーク

■ 就労相談

開館日 火・水・木・金・土・日 (月・祝日除く)

10:00-18:00

☎070-4000-1713



東京都千代田区有楽町2-10-1 東京交通会館8階
「ふるさと回帰支援センター」内

期間限定の特別販売イベントを開催します！！
はりまの21歳から厳選した日本酒を集めました。
山田錦を使ったGI「はりま」に認定されたお酒もあります。



大集合 in 有楽町
はりまの日本酒

兵庫わくわく館 期間限定特別販売イベント

場所

兵庫わくわく館 特設コーナー
(東京都千代田区有楽町2丁目10-1 東京交通会館 地下1階)
TEL:03-6273-4133 営業時間:11時~19時

日時

1月28日(金) 14時
~
2月20日(日) 19時

※新型コロナウイルス感染症拡大により試飲はございません。

主催:姫路市地方創生室 協力:播磨広域連携協議会・はりま酒文化ツーリズム協議会・はりま酒研究会
問い合わせ先:079-221-2203(姫路市地方創生室)

はりま酒文化ツーリズム

検索





確実にやるのはどこでもできる。
確実に速くやるからこそ「価値」になる。

三井住友銀行



兵庫お酒の会第3回企画

「朝来市の魅力&あの銘酒を 味わうオンラインツアー」

朝来市長の乾杯で

オンラインツアーがスタート！

令和3年12月4日の師走の時期にもかかわらず、忙しい合間を縫って朝来市&兵庫県&兵庫のお酒を愛する方々がオンライン上に集合しました。

朝来市の藤岡市長の乾杯のご発声を合図に朝来市オンラインツアーがスタート！ご参加いただいたほぼ全員が、事前にご購入済みの「朝来市満喫ドリムセット」をお手元に準備くださり、美味しい朝来市名物とお酒をいただきながらツアーを楽しみました。

ツアーのトップバッターは、天空の城として名高い朝来市の名城、竹田城最後の城主の赤松広英公（赤松広英公に扮した朝来市観光課の羽瀨様）より、朝来市の美しい景色パネルを使って朝来市の魅力と観光についてのお話をいただきました。約1時間かけて凛々し

い甲冑姿に変身されたそうですよ！

続いて、宮谷商店の宮谷店長より、朝来市と此の友酒造と田治米合名会社の歴史からご説明いただきました。2酒蔵は酒づくりに適した水を探し求め、それぞれ別ルートから朝来市山東町矢名瀬の地にたどりついたそうです。とても印象的だったのが、タイムスリップしたかとおもうような、情緒あふれる素敵な矢名瀬の街並み！矢名瀬が宿場町だった頃の趣が今も残っているそうです。実際にこの目で確かめたいなりました。

そしていよいよお待ちかねの、此の友酒造株式会社の次期蔵元の木村様と、田治米合名会社の蔵元の田治米様より、酒蔵とお酒のお話をいただきました。酒蔵も見学し、2蔵のこだわりやお酒を知ることができました。2蔵とも300年以上も続いている歴史ある酒蔵。2蔵とも「地酒」であり続けるこ



初のオンライン開催でしたが、朝来市の皆様のご協力と、25名様にご参加いただきましたお陰で大いに盛り上がりました！



明石屋網オンラインせり

続いては、中継先を明石浦漁協に移しての“せり”体験。

せりに先じて明石浦の魅力と明石の魚の美味しさを紹介いただきました。とりわけ売り出し中の「浦サワラ（脂ののった鯖）」の話は興味深く、大和製衡（100年以上の歴史がある「はかり」の会社。日本で初めて体重計を作ったのも同社。もちろん本社は明石市）が開発した“フィッシュアナライザ™”で脂肪が5%以上：上旨（黄色札）、10%以上：特上（赤色札）として認定。測定器が浦サワラのブランド化に一役買っているとのことでした。



重さ約3kgの浦サワラ。フィッシュアナライザで脂肪が10%以上あることを確認し、その証明となる赤札（特上）が尾ひれについています。



せりに登場したのは、明石鯛・浦サワラ・穴子の

3品。チャットに希望価格を入力する形で進行し、どんどん入力され大盛り上がり!!!

のののの会からは岡本隆之さんが約1kgの明石鯛（相場5~6,000円）を2,000円で、三谷和久さんが伝助穴子（2本1セット）を5,555円（相場6,000円）でセリ落とししました。中西は555円差で三谷さんに競り負けました（笑）

競り落とした岡本さん、三谷さんは満面の笑みでした！

プレゼントコーナー



中西が常任幹事を務める東京明石会が協賛し、厳選した逸品を用意。予定になかったあかし玉子焼粉セット、来楽純米吟醸、東経135度兵庫ドライジンの追加もあり大いに賑やかなコーナーとなりました。

ふるさと明石の逸品、それぞれの良さを皆さんに知っていただきたくて、つつい説明に力が入ってしまいました（笑）せっかくですので、私が選んだ逸品を本誌面でも紹介をさせていただきます。通販でも購入できますので、ぜひ検索の上お買い求めください。

- ①明石産炭焼き穴子：林喜商店 ②明石鯛の灰干し：吉市水産有限会社 ③ぺったん焼き詰合せ：永楽堂
- ④明石ビール飲み比べ6本セット：明石ビール株式会社 ⑤明石ダコのやわらか煮：株式会社神戸グルメ

当日の舞台裏も少し紹介します。

本格的な照明スタンドも用意し、明石焼き講座用には正面用と手元用のカメラも用意。

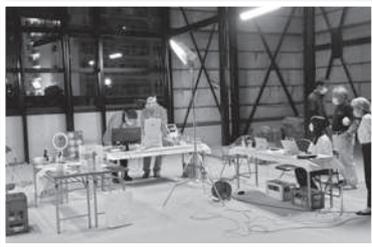
進行管理、スイッチャー役のワールドワン：田内さんは大忙しでした。

中西はと言えば、お酒が入りすっかり赤ら顔＝もはや明石の茹だご状態で進行を見守りました。

多くの方のご協力のもと、「のののの会×同郷会（東京明石会）」というコラボイベントを開催することができました。本当にありがとうございました！



直前まで念入りな打ち合わせ。左の女性が田内さん。配信で映ることはありませんでしたが、裏方として大活躍でした。



明石酒類醸造さんの広々とした建屋をお借りしての中継でした。



いよいよ配信も終了間際。「愛の証（明石）」の掛け声もすっかり揃いました。



（文：中西豪）

「のののの会」
（中堅・若手会員交流会）

連絡先 info@hyogo-kenjinkai.jp
担当 片岡 誠



のののの会×東京明石会 「明石まるごと体験オンラインツアー」 を開催しました!

2021年
10月30日(土)開催

昨年10月30日(土)、東京明石会とコラボをしたオンラインイベント「明石まるごと体験オンラインツアー」を開催しました。

参加者は約30名。事前に購入いただいた明石のお酒や味覚のセットを楽しみながら、終始賑やかに進行した約2時間のイベントとなりました。

ライブ配信にあたっては、明石酒類醸造様の社屋をメイン会場としてお借りし、同社の酒蔵、明石浦漁業協同組合をつないでの3次元中継で配信をしました。

開催にあたり、株式会社ワールド・ワン様に多大なご協力をいただきました。ありがとうございました。



ツアーの開催にあたり、明石市長の泉房穂様がビデオメッセージを寄せてくださいました。



左からワールド・ワンの沼能さんと古里さん。お二人の名司会・進行のおかげで、笑いの絶えないツアーとなりました。

明石焼き講座

まずは、明石焼きの作り方講座からです。

講師役はのののの会/県人会ではお馴染みの明石玉子焼ひろめ隊隊長の古志宗利さん。各地で啓蒙活動をしているので講座の進め方はお手の物。画面越しで同時進行で明石焼きを作った方々からも「うまくてきた〜」「おいしい!」といった感想をいただきました。



右が古志さん（お顔が写ってなくてごめんなさい笑）。タコの代わりに穴子やチーズを入れるのもおすすめのことでした。



左から茨木さん・沼能さん・米澤さん。

お三方は「来楽 純米大吟醸」、「東経135度兵庫ドライジン」「来楽 純米吟醸生原酒」で繰り返し乾杯をしていました(笑)

酒蔵ツアー

明石酒類醸造株式会社 代表取締役社長 米澤仁雄さん、茨木酒造合名会社 蔵元 茨木幹人さんが案内人となり発酵中のタンク内の様子や、絞り機の紹介がありました。絞り機は明石の藪田産業のもので、日本の造り酒屋の多くがこちらの機械を使っているそうです。

それにしても、発酵中のタンクから立ち上る香りが画面越しではわからないのが、もどかしかった〜(笑) ちなみに明石市内には酒蔵が6軒あるそうです。

尚、多くの参加者が楽しんだ「東経135度兵庫ドライジン」(イベント開催時は日本未発売)には柚子(安富町)・山椒(但馬)・煎茶(三田)・紫蘇(神戸)と兵庫産の原材料も多く使われているとのことで兵庫県人としては嬉しいですね〜!

眞 人 会 だ よ り

「オンライン白城会東京のつどい」開催

新型コロナウイルス感染が収まらない中、昨年（令和3年）は、一昨年に引き続きリアルでの「白城会東京のつどい」の開催は断念しましたが、これまで築き上げた白城会のつながりを何としても継続させようという決意の下、9月26日（日）に初めてオンラインで開催しました。

東京支部の会員に姫路西高や郷里とのつながりをさらに深めていただくための「ホームルーム」今の西高を見てみよう」や「清元市長による「姫路ウルトラクイズ」、若い世代の活躍を紹介した「特別対談「ミライを創る西高OB・OG」、一昨年・昨年に首都圏の大学に進学した学生を対象にした「新人紹介・新人歓迎会風景」など多彩なプログラムで会員の皆様に楽しんでいただきました。視聴者総数は320名、最大同時視聴者数は192名にのびりました。

今年は、新型コロナウイルスの感染収束を期待して、3年ぶりにリアルでの集まりを再開したいと願っています。

<9月26日（日） 当日のプログラム>

13時45分サイトオープン 14時「白城会東京のつどい」スタートです。

お待ち頂いている間、「姫路の今」の様子をお楽しみ頂けます。

プログラム①：ホームルーム “今の西高を見てみよう”

清瀬校長（33回生）を始め、西高出身で現役の西高の先生方に、西高の中をご案内頂きます。懐かしい母校の今をお楽しみください。



プログラム②：特別対談 “ミライを創る西高OB・OG”

政治ジャーナリスト 安積明子さん（35回生）が、各界で活躍する若手の西高卒業生にインタビュー。特に若い皆さんは必見です！

- 田中美奈子さん（52回生）：クリエイティブディレクター
広告業界で権威ある“クリエイター・オブ・ザ・イヤー”を受賞。
- 津田昌太郎さん（56回生）：『Festival Life』編集長
世界中の音楽フェス情報に精通したフェスジャーナリスト。



プログラム③：清元市長による“姫路ウルトラクイズ”

清元市長自ら、姫路にまつわる難問を出題。クイズを通じて、姫路のことをより深く知ることができます。一緒に進行して頂くのは弁護士で55回生の岩見和磨さんです。



- ※他に昨年、今年に新たに首都圏に来られた新人の皆さんのご紹介を行います。
- ※詳細につきましては登録頂いたLINEもしくはメールアドレス宛にお送りいたします。
- ※プログラムは変更となる場合があります。

首都圏における兵庫県関係の同郷会、同窓会等一覧

○同郷会

播磨	関東加東応援団	但馬	東京あさご会
	東京相生会		東京香住会
	東京明石会		東京但馬会
	東京加西会		東京美方会
	東京西脇多可の会		東京養父市会（やぶらぶ東京）
	東京たつの懇話会	丹波	関東氷上郷友会
	東京あこうのつどい		多紀郷友会
		淡路	東京淡路会

○同窓会

神戸	神戸高校同窓会東京支部	播磨	龍野高校同窓会関東支部
	神戸大学東京六甲クラブ		東京宍粟会（山崎高校）
	神撫会東京支部（長田高校）		東京自彊会（明石中学・明石高校）
	瀧川学園同窓会東京支部		東京淳心会（淳心学院高校）
	東京甲南会		東京白陵会（白陵高校）
	東京神商会（神戸商業高校）		東生会東京支部（姫路東高校）
	東京武陽会（兵庫高校）		白城会東京支部（姫路西高校）
阪神	あしかび会関東支部（芦屋高校）	但馬	神戸大学附属明石中学校同窓会（ユーカーリ会）東京支部
	関西学院同窓会東京支部		入佐会東京支部（出石高校）
	関東緑窓会（伊丹中学、高女、高校）		関東橘友会（浜坂高校）
	三田学園同窓会東京支部		関東銀嶺会（生野高校）
播磨	赤穂高校同窓会関東支部		東京達徳会（豊岡高校）
	鷄鳳北同窓会関東支部（龍野実業・新宮・龍野北高校）		東京八高会（八鹿高校）
	尚友会関東地区（社高校、高女）		丹波
	清流会東京支部（加古川東高校）	柏陵同窓会東京支部（柏原高校）	
	蜻蛉会東京支部（小野高校）	淡路	ゆづるは会（淡路三原高校同窓会東京支部）

※掲載団体は、県人会で把握している団体のうち、「掲載可」と回答のあった団体です。（令和3年12月現在）
ここに掲載されていない団体で、掲載を希望される団体は、県人会事務局までお知らせください。

TEL.03-5212-9040 E-Mail : info@hyogo-kenjinkai.jp